

私の一文字「戯」



代表幹事

小林 喜光

人生は肩肘張らず、戯れるように生きる

今号から表紙を一新。会員が選んだ「一文字」に書家の岡西佑奈さんが命を吹き込みます。併せてその一文字に込める思いを岡西さんをお相手として語っていただく新企画をスタート。第1回は小林喜光代表幹事にご登場いただきました。

岡西 小林さんが選ばれた「戯」という文字は書としては初めて書きました。選んだ理由を教えてくださいませんか？

小林 「そは水の音 風の戯れ」という私の作った言葉から選びました。人生は水の音が聞こえるように沈静する必要があり、風の戯れのように予測できないという意味です。「水の音」は芭蕉の「古池や蛙飛び込む水の音」からですが、人生は何があっても最後は心の中に静寂を持っていなければいけないだろうと思います。マーケットの動きも政治も風の吹き方次第です。そうしたものは風の戯れにすぎないという意味を込めています。

岡西 戯の旧字体では、偏の上の部分は虎の頭の象徴、その下の5画はもともとは豆という字でした。豆は高台の椅子、その上に虎のかぶり物をした人が座っている状態です。その後ろから矛を持った人が立っている状況が傍の部分。傍の最後の曲線に、事前に拝見した著書とお写真で感じた小林さんの強い信念と優しい笑顔の印象を込めました。

小林 すごくしっかりしていますね。前へ進む感じが出ていて気に入りました。

岡西 ありがとうございます。小林さんの経営のテーマはサステナビリティだそうですね。

小林 三菱ケミカルホールディングスの社長に就任した時に、社会に対して役に立つことをテーマとしてやらなければいけないと考えました。私は3次元経営を標ぼうしています。X軸は儲ける軸。文字通り財務的なもの。Y軸は新しいテクノロジーやイノベーションを追求する軸。Z軸は持続可能性の軸です。例えば、すごく軽い材料を作れば100のエネルギーがかかっていた自動車が60で走れます。

書家

岡西 佑奈

1985年3月生まれ。23歳で書家として活動を始め、国内外受賞歴多数。文字に命を吹き込み、独自のリズム感や心象を表現。青い地球と人間との調和をテーマにしたシリーズ『青曲』を展開。

そういう素材を作る。これら三つの軸が織りなすベクトルこそが会社の価値と考えて、経営してきました。

岡西 私も地球環境の持続性や生態系について作品を描いています。特にサメが大好きで、海の浄化とサメを題材にした作品も手掛けていますが、生態系の頂点にいるサメには絶滅危惧種も多くいます。

小林 生態系はまさにZ軸。今のようなCO₂の排出量があると100年続いたら、地球全体が温暖化で破滅してしまいます。私はZ軸が最も大切だ、と言い続けています。

私が60歳で社長になる前に、ある焼き鳥屋で「宿命、運命、使命」という言葉を見かけて、「宿命に耐え、運命と戯れ、使命に生きる」と言葉を足したのです。人間は男に生まれるとか女に生まれるとか、DNAで決まるような宿命的なことには耐えるしかありません。でも、命を運ぶと書く運命は、なんとか自分で変えられる。ならば、運命を固く考えないで戯れるように生きることも必要。そして、地球に生まれた私に使命があるならば、そのために命を使おうと。あるいは、使命があるから生きることができる。自分をしっかり持ち、人生は肩肘張らずに生きていくしかないということをいつも意識しています。

